

# ◇ 標準塗装仕様書 ◇

AGCコーテック株式会社

◇工法名	ボンフロンGTヘアークラックバリアー工法 ゆず肌仕上【水性仕様】 (新築):0.1mm追従仕様		
◇適用	普通コンクリート・普通プレキャストコンクリート・軽量1種プレキャストコンクリート		
◇使用材料	下塗	アンダーコートPCW	15.0 kg/缶
	中塗	ボンフロン水性W#1500中塗	15.0 kg/缶
	上塗	ボンフロン水性GT-SR	15.0 kg/缶

工程	使用材料	調合	希釈率 (%)	標準所要量 <sup>注1</sup> (kg / m <sup>2</sup> )	塗 回数	塗装間隔(23℃)		施工方法
		主剤:硬化剤				工程内	工程間	
素地調整	・被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れ等を除去する。							
1	下塗	アンダーコートPCW(全面塗り)	—	清水 100	0.10~0.15	1	3h以上 ~ 8h以内	ローラー
2	下地 調整材	アンダーコートPCW(全面塗り) <sup>注3</sup>	—	清水 0	0.40~0.45	1	4h以上 ~ 7日以内	砂骨ロー ラー (極細目)
3	中塗	ボンフロン水性W#1500中塗	—	清水 0 ~ 15	0.13~0.18	1	4h以上	スプレー ローラー エアレス
4	上塗	ボンフロン水性GT-SR上塗 <sup>注4</sup>	—	清水 0 ~ 5	0.13~0.18	1	-	スプレー ローラー エアレス
合 計						4		

注1) 標準所要量については、各種施工方法の塗着効率を下記として算出しております。

施工種	塗着効率(%)
刷毛, ローラー	80~100
エアレススプレー	60~80

注2) 塗装間隔の時間は、雰囲気<sup>注5</sup>が23℃での結果を記載しております。  
従って、実施工においては現地の雰囲気によって変動します。

注3) アンダーコートPCWは、標準所要量を下回りますと意匠的には仕上がりますが、十分な耐久性能が得られなくなります。標準所要量を厳守してください。

注4) ボンフロン水性GT-SRは、標準所要量を下回りますと意匠的には仕上がりますが、十分な耐久性能が得られなくなります。  
また、低汚染性付与の目的で使用するボンフロン水性GT-SRは、通常タイプのボンフロン水性W#1500より造膜までに時間を要しますので、塗装初期の降雨や結露等の水分には曝されないようにして下さい。

注5) シール部には塗装しないでください。(割れ等が発生します。)  
※水性塗料を使用する際は、低温下の凍結・素地の含有水量・降雨等で造膜不良を生ずる恐れがありますので作業環境には充分注意して作業を行って下さい。  
※別紙の特記事項は、必ずお読み下さい。